

事業名： 障害者日中一時支援事業

福祉課 障がい福祉係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	04 障がい者福祉の充実								
基本事業	01 在宅福祉サービスの充実								
開始年度	平成19年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

短期入所の支給決定を受けている障がい者

手段（事務事業の内容、やり方）

日中において監護するものがないため、一時的に見守り等の支援が必要な障がい者等に、活動の場の提供し、見守り、社会適応訓練等の支援を行う。
利用者は事前に支給決定を受け、市に登録された事業所に申し込みをし、サービスを利用する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者等の日中活動の場が確保されることで、家族の就労支援や一時的な休息が図られる。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	短期入所の支給決定を受けている障がい者数（4月1日）	人	354	365	403	365
対象指標2						
活動指標1	実施事業所数	事業所	35	35	37	35
活動指標2						
成果指標1	実利用者数（年）	人	176	174	174	186
成果指標2						
事業費(A)		千円	35,143	35,743	39,877	43,079
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	3,907	2,347
総事業費(A+B)		千円	37,551	38,148	43,784	45,426

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等支援を行う。	利用料の一部負担 39,877千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成18年10月より、障害者総合支援法における地域生活支援事業として事業開始	
事業を取り巻く環境変化	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 <p>根拠法令：障害者総合支援法</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>障がい者等やその家族の支援を行うことにより、安定した在宅生活が見込まれるため。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 <p>単年度での伸びはないが、増加傾向にある。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 <p>事業所が増えることで潜在的な利用希望者の利用が見込まれるため。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 <p>成果（利用者増）のためにはコスト（事業所に入る報酬の増加）が必要となるため。</p>